

1 県の施策に関する提案

【優秀賞】県職員セールスマン化作戦	
提案者：中小企業課 主任 木下 広志	
提案内容	表彰理由
<p>観光物産課や園芸流通課うまいもんどころ推進室の職員などはいばらきのPRに日々努力しているが、直接の担当課以外の職員は、本県の売り込みについて必ずしも熱心であるとは言えない状況である。</p> <p>そこで、いばらきのPRに関心がある職員を対象に担当課の職員等が研修を行い、いばらきの良さを学んでもらい、県を好きになってもらうことで、最終的にはいばらきのセールスマンになってもらう。</p> <p>○職員のためのいばらきPR講座の開設 (担当課等による講義、現地視察等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容…観光資源、県産品、より良いPRの仕方等 ・募集対象…いばらきの良さを学びたい県職員 	<p>本県のブランド力の向上やイメージアップは大きな課題。</p> <p>職員一人ひとりがセールスマンとなって県の内外に「茨城情報」を発信し、茨城を売り込んでいくことは本県の魅力度を高めるうえで重要な取組。</p> <p>実施に向けては、PR講座の内容や受講した職員の活躍の場など具体的な手法等をさらに詰める必要はあるものの、職員が本県セールスマンとしての自覚を持つとともにスキルアップを図るうえで、大変有効な提案と評価。</p>

2 事務改善・県民サービスの改善に関する提案

【奨励賞】需用費（消耗品費・印刷製本費）の節約	
提案者：県北県民センター地域福祉室 主任 荒蒔 和哉	
提案内容	表彰理由
<p>筆記用具等の事務用品は、いつの間にか引き出しの中のため込んでいることが多い。</p> <p>そこで、各職員の引き出しの中の事務用品を必要最小限残して回収し、会計事務局または各部幹事課、出先においては庶務等が管理し、使い切った場合のみ、支給するようにする。</p> <p>このほか、ファイル・付箋などの再利用の徹底や縮小印刷による印刷枚数の削減、カラーコピーの禁止などに取り組む。</p>	<p>本県財政の危機的な状況を踏まえ、職員一人ひとりが常にムダの排除を意識して業務に取り組んでいくことが重要。</p> <p>これまでも所属ごとの適切な在庫管理や物品購入に努めているが、より職員の意識改革を図るため、提案内容のような徹底した取組も必要。</p> <p>事務用品の管理事務を特定の課に限定する場合、効率性の面で検討も必要と思われる、まずは課所単位での実施が現実的。</p>

【奨励賞】裁決決定期限のある審査請求に係る事務の一元処理について	
提案者：福祉指導課 係長 丸山 達也	
提案内容	表彰理由
<p>審査請求等の不服申立て制度に係る事務について迅速な裁決を実現するため、文書管理規程に定める総務課長の審査を不要とするよう、所要の改正を行う。</p>	<p>審査請求に係る事務処理の迅速化・サービスの改善に資する提案であると評価。</p> <p>なお、総務課長審査を不要とする範囲については、裁決の適正さを保持するため、重要または異例のもののみを審査対象としている他県の例なども参考に慎重な検討が必要。</p>